



奄美訪問の《まとめ》八記久美子

## 沖縄県民と日本国中の英知を合わせれば 辺野古はストップできると確信

### 宝玉の話、満載でした

今回の奄美行きで、私は、現地沖縄と日本国中の英知を集めれば、辺野古の新基地建設はストップできると、体で感じました。奄美で出会った様々な人の行動や話しが、私に確信を与えてくれました。これが、奄美での成果です。

美しい海をなくした絶望と悲しみの中から、子ども達のために、立ち上がろうとする住用町市(いち)集落のみなさん。

大量の砂が流失した砂浜を、自分が子どもの頃遊んだ美しい海岸にして、子ども達に残そう。行政と対立するのではなく、一緒にがんばれる道を探そうと話す、サーファーの碓山さん。

「石で食べている。買うところがあれば売ってもいいのでは」と話す砕石業者に、80代の住職や元教師が、「子ども達にきちんとした未来を手渡すこと・戦争に手を貸さないことが、最優先されるのではないかと、論じたこと。

会派をこえ、新しい権限を作り出してでも、建設をストップさせようと、新基地土砂条例を6月議会に提出するという、沖縄県議団。



どれも、本当に素晴らしいと思いました。そして、環境をいじると、どこかにその影響が出ることも、肝に命じました。私は奄美で知ったことを、広げなくてはいけないと思っています。

最後に、現地で準備・運営に当たった奄美会議のみなさんは、本当に大変だったと思います。心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 北九州連絡協議会 準備会にご参加下さい

北九州でも運動を広げるため、下記要領で準備会を開催します。

準備会ですので、たくさんの団体に声をかけていませんが、参加できる団体・個人の方は、是非ご参加下さい。お待ちしております。

◆6月9日(火)19時～

◆北九州生涯学習総合センター  
(旧・北中公)1階

※お問い合わせは 080-1730-8895

### 《目からウロコの話・2題》

奄美で、「辺野古の基地ができればそれは国有地となり、半永久的に基地が存在することになる」と、誰かが話すのを聞いて、「なるほど」と驚きました。

もう一つ。私は、早く搬出業者の名前が公式に発表されれば良いと思っていました。そんな中、奄美の方から「砕石地・業者・生産量を明確にさせるのは、それは防衛省と業者の事前協定に追い込みかねない…この問題の複雑さは、契約こそが事実関係の確定。確定させないという言いでもあると思っています」というメールをいただきました。つまり、「契約に到らせない運動」と言うことでしょうか。これにも「なるほど」と思いました。

辺野古ストップは、大変な運動ですが、全国の教訓や考えを学ぶとともに、そのことを楽しみながら、日々頑張っていきたいと思っています。